

(2) 校内研究の概要

1 研究主題

多様な価値を認め合う豊かな心の育成
～9年間を繋ぐ道徳教育の工夫改善や家庭、地域との連携を通して～ (3/3年次)

2 主題設定の理由

平成27年3月27日に「特別の教科 道徳」(以下、道徳)が誕生し、小学校では、平成30年度から、中学校では令和元年度から道徳科の全面実施が行われた。いじめ問題等の課題を解決するために社会全体で心と体の調和のとれた人間を育成するべく人間性に深く迫る教育を行うことが求められた。道徳教育の目標を教員間で共有化し、指導内容の充実、指導方法の明確化を図るとともに、家庭や地域と連携しながら道徳教育を進めていくことが求められている。

本校は義務教育学校であり、1年生から9年生までが1つの校舎の中で共に学校生活を送り、学校行事や日常の学校生活の中で継続的・計画的に異年齢集団での交流活動を行っている。令和3年度・4年度に「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の文部科学省指定を受け、義務教育学校としての良さを生かし、全ての教員が同じ目標、内容を共有しながら道徳科の授業づくりを中心に研究を行った。授業づくりの手順を示し、学習指導過程を共通化することで、ねらいや主題を明確にし、児童生徒が互いの考えを話し合う「あくしゅタイム」を意図的に設定した授業を展開した。さらに、行事や教科との繋がりを重視した「コラボ道徳」、児童生徒への理解を深める「ローテーション道徳」など方法の改善にも取り組んできた。その結果、児童生徒の道徳的価値理解の高まりがみられた。しかし、内容項目の「個性の伸長」「努力と強い意志」は他より意識が低く、自己を肯定的に捉えることができず、相手を批判する言動や自己中心的な考え方や態度をする児童生徒も見られる。自分の思いや考えを伝えることが苦手な児童生徒がまだまだ多い。また、家庭や地域との連携については、教員の意識も十分に高まったとは言えず、課題が残った。

以上のような児童生徒の実態や本校の課題から、昨年度まで積み重ねてきた道徳教育の研究を基盤としながら、今年度は次の2つを柱として研究を深めていく。

- ① 地域を生かした授業づくり
- ② 家庭や地域との繋がりや義務教育学校の良さを生かした取組

家庭・地域との連携を深めることを重点とし、義務教育学校の良さを生かしたすべての教育活動における、意図的・計画的な道徳教育の在り方について探っていきたいと考え、本主題を設定した。

3 研究目標

義務教育9年間を繋ぐ道徳教育の場において、家庭・地域と連携した授業づくりと互いのよさに気付く認め合う活動を通して、自分に自信をもち、相手を思いやる心が育つことを実践をとおして明らかにする。

4 研究仮説

9年間の繋がりを意識した道徳科授業とそれを支え、生かす取組において、家庭・地域の「人・こと・もの」を生かした教材を開発し、互いのよさを伝え合う交流活動を充実させれば、自己を受容し、成長を実感しながら、相手を大切にする生き方を実践する児童生徒を育てることができるであろう。

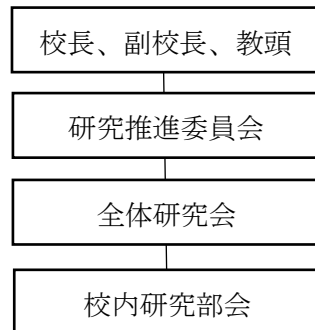
5 研究の方法と内容

- ① 地域の「人・こと・もの」を生かした授業づくりと評価の工夫改善
- ② 家庭・地域との連携や9年間の繋がりを生かした活動の工夫改善

以上の取り組みを、講師を招き、指導・助言をいただきながら、年間を通して計画的に進めていく。

<p>< 講師 > 唐津市立浜崎小学校 金丸 ゆか 教諭 (スーパーティーチャー)</p> <p>指導・助言の内容</p> <ul style="list-style-type: none">・研究全体に関わって、年間を通して指導・助言をお願いする。・道徳科の時間を要としながら、全ての教育活動を通して行う道徳教育の在り方について指導と助言をお願いする。・全体研究会には、指導案作成の段階から助言をお願いする。・全体研究会には、指導助言者として参加していただく。
--

6 研究組織



◎は 各学年の話し合いの司会、調整役を行う。

	低学年グループ (1～4年)	中学年グループ (5～7年)	高学年グループ (8～9年)
○授業づくり	小島 ◎南里香 志田	綾部 ◎脇部 原田	武村 高津 桐原
○授業を支え生かす取り組み	荒木 緒方 松尾 田中 坂本 伊藤 市丸	江口泰 森下 高原 南里安 齋藤 卯津江	村山 ◎御厨 富増 江口洋

7 全体計画・年間計画

期日	内容
4月 7日(金)	第1回全体研究会 ・研究テーマ、内容、組織の提案 ・授業実践のスケジュール打ち合わせ等
4月21日(金)	第2回全体研究会 ・内容の提案 ・授業実践のスケジュール打ち合わせ等
5月 8日(月)	第3回全体研究会 → 学年グループ会 ・全体計画の提案 ・授業実践のスケジュール打ち合わせ、決定等
6月14日(水) ◎授業、授業研究	第4回全体研究会 6年1組 ・【外部講師による模範授業】 研究授業、講話 ※講師：金丸教諭
7月12日(水) ◎授業、授業研究	第5回全体研究会 3年1組 ・【校内研究部 提案授業】 研究授業、授業研究会 ※講師招聘
8月23日(水)	第6回全体研究会 → 学年グループ会(マトリックス作業) ・校内研究部より提案 ・学年グループ会より研究の経過報告作成について(1学期のまとめ)
9月13日(水)	第7回全体研究会
11月15日(水) ◎授業、授業研究	第8回全体研究会 ①低学年グループ(授業者：小島先生) ②中学年グループ(授業者：卯津江先生) ③高学年グループ(授業者：)
12月13日(木)	第9回全体研究会 → 学年グループ会 ・学年グループ会より研究の経過報告会(2学期のまとめ)
1月17日(水)	第10回全体研究会
2月21日(水)	第11回全体研究会 ・今年度の研究の経過報告会(1年間のまとめ)
3月15日(水)	第12回全体研究会 ・今年度のまとめ ・成果と課題の共通理解 ・次年度に向けて